

令和7年度第1回から第3回までの協議の概要

募集定員総数については、三重県公立高等学校協議会（公私協）のもとに設置した「高等学校生徒募集定員に係る公私比率等検討部会」の提言「令和9年度までの募集定員の公私比率等について（令和4年2月）」をふまえて策定することとしている。

令和7年5月7日付で、県私学協会から公私協会長あてに、国における令和8年度からの私立高校授業料の実質無償化の動きをふまえ、「令和8年度の私立高校の募集定員総数を令和7年度のまま維持すること」および「令和8年度に予定されている部会の設置を令和7年度に前倒しすること」の2点について要望する「申出書」が提出された。

今年度の公私協では、これら2点の取扱いを含めて協議を行った結果、以下のとおり了承された。

- 令和8年度募集定員総数については、公私それぞれが、県内全日制高校入学見込み人数が前年度から265人減少すること、生徒の進路保障や県民の理解を得るなど提言の理念を尊重すること、当協議会における議論、無償化の影響などをふまえ、令和7年度の各募集定員総数の範囲内で策定する。
- 令和7年度中に部会を設置し、令和9年度以降の募集定員のあり方について協議を開始する。については、事務局で委員候補を選定した上で第4回公私協を開催し、部会の設置について諮る。